

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表		公表日		利用児童数		回収数					
事業所名		令和7年 2月 20日		31		31					
てらびあぼけっと 相模大野教室											
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	1			<ul style="list-style-type: none"> ・広すぎず、狭すぎず、ちょうどいい広さだと思う。 ・1対1の部屋、集団の部屋どちらも十分な大きさです。 ・子どもが走り出しても十分なスペースがあると思う。 ・もう少し広ければもっと色んな動きや活動もできるかなと思う。 		<p>今後も活動スペースを十分に確保できるよう、整理整頓し、清潔に保っていききたいと思います。</p>		
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・1対1+αの先生がいてくれて安心して通えている。 ・子ども1人に対して複数の職員の方の目が届いていて安心している。 		<p>今後も安心して通っていただけるよう職員配置に努めていききたいと思います。</p>			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・個室と大部屋の用途の違いが分かりやすいと思う。 ・荷物を置く場所、絵本、玩具と場所がわかりやすいと思う。 ・絵カードを使用していて工夫していると思う。 		<p>物は決められた場所に配置・整頓し、お子様に合わせてイラスト等使って伝えていききたいと思います。</p>			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・いつもきれいな部屋で、消毒など毎回徹底してやってくれているので安心。 		<p>今後も常に清潔に保てるよう、こまめな消毒に努めていききたいと思います。</p>			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも工夫して課題を与えてくれている。 ・子どもの苦手な所を見てくれていて、性格を理解した上で支援してもらっている。 ・子どもの苦手な部分や体調に合わせて声掛けをしてもらっている。 ・その日できたことを1つずつわかりやすく説明して頂けるので保護者も声掛けの学びになっている。 		<p>お子様一人ひとりに合わせ、又、その日の体調に合わせて今後も支援していききたいと思います。</p>		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31						<p>今後も支援計画に沿った支援に努めていききたいと思います。</p>		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・面談をおこない、話を聞いてくれた上で作られているのでとても合っている。 ・家族の思いも含まれている計画で満足している。 ・できない、頑張りたいことに対して目標を立て、それがどれくらいできるようになったのかわかりやすく教えてくれている。 ・直接話したことを反映して頂いていると思う。 		<p>今後も面談等保護者様のご要望を伺いながらお子様一人ひとりに合った支援計画の作成に努めていききたいと思います。</p>		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容で設定されている。 		<p>今後もお子様に合わせて具体的な支援計画の作成に努めていききたいと思います。</p>		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・子どものペースに合わせて目標に向かってゆっくりですが確実に支援していただいている。 		<p>今後もお子様のその日の体調を伺いながら支援計画に沿った支援に努めていききたいと思います。</p>		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31			1	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のレベルややる気などに合わせて柔軟に対応して頂いている。 ・模倣などたくさんさんのプログラムをやってくれている。 		<p>その日の気分に合わせて、今後も固定化しすぎないように無理なく進めていききたいと思います。</p>		
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	4	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・本人も他の保育園のイベントに楽しく参加できた。 ・提携保育園のイベントに参加させていただき、大変良い経験ができました。ありがとうございます。 		<p>今年度初めて提携保育園のイベントに参加しました。今後も機会をもてるように検討していききたいと思います。</p>			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・初めに説明がありました。 ・わかりやすく丁寧に話してもらいました。 				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31				<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いた。 ・丁寧に説明してくれた。 				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回子どもの様子等細かく説明してもらっている。 ・悩み事に対してもいい方法教えてくれている。 ・ペアレントトレーニングは現時点ではないが、研修会の案内は家族にわかるように提示されている。 ・あったらやってみたいし知りたい。 		<p>フィードバック時等ご家庭での様子や教室での様子を共有させていただき、保護者様にわかりやすく提示・提供させて頂ければと思います。</p>		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29				<ul style="list-style-type: none"> ・面談の時に細かくお話をさせていただき、何かあれば行く度に伝えている。 ・毎回確認してくれ、何かあれば相談しやすい温かさを感じる。 		<p>その日の体調は毎回入室時に共有させていただいています。面談等で今後も保護者様とご様子を共有させて頂き、安心して通っていただけるよう努めていききたいと思います。</p>		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1			<ul style="list-style-type: none"> ・相談にのってもらったり、面談の提案もしてくれる。 		<p>フィードバック時やご希望の方には面談のご案内をさせていただき、より良い支援を提供できるよう今後も努めていききたいと思います。</p>		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29				<ul style="list-style-type: none"> ・子どものことをよく見てくれ、一緒になって考えてくれる。 ・いつもすぐ丁寧に褒めてくれ、子どもも楽しそうに通っている。 ・いつも温かい言葉でフォローしてもらっている。 ・よく見てもらっていると日々思っている。 		<p>今後も安心していただけるよう、支援に努めていききたいと思います。</p>		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	7	6	9	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人との交流はありません。でも、それでかまわない。 ・そういったイベント等あるのかわからない。 ・特に必要と感じていない。 		<p>意見が割れて「わからない」という意見も多く頂きました。今後開催含め教室全体で考えていき、検討していききたいと思います。</p>		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも「お家の方から何かありますか?」と聞いてくれる。 ・相談すると解決策を考えてくれる。 		<p>今後も相談等お伺いした際は面談等ご案内できるよう迅速に対応させていただきたいと思っています。</p>			

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28		1	・子どものことでの相談等で時間をとってくれて相談がしやすい。 ・よく聞いてもらっている。		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	2	5	・ブログを更新している。 ・SNS等では見たことがない。	現状、年に数回おたよりを配布したり月に2回ブログを上げています。今後も定期的におたより等発信していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29				・初めに説明があった。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			3	・初めに説明があった。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		6	・避難訓練の様子を玄関の所に写真付きで貼っている。	その時間の利用児＋職員で年に2回実施し、その後教室の玄関に様子を掲示しています。今後も色んな想定をして色んな時間帯の利用児たちと訓練していきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			2	・説明があった。 ・安全だと思う。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		2	・初めに説明があった。 ・入室の際に伝え忘れた怪我について、帰りに先生の方から確認してくれた。	今後も事故等起きないよう職員一同注意していきたいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29				・先生達のことはとても信頼しているように感じる。 ・嫌がることなく、先生に対して安心している。 ・先生と話ができると思って楽しみに行くことが多い。安心していると思う。 ・預ける時もスムーズにお別れできるので安心していると思う。	今後も安心して通っていただけるよう楽しみながらセラピーに努めていきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	2			・いつも楽しみにしている。行くのを嫌がったことがない。 ・「〇曜日はてらびあに行く！」と毎週楽しみにしている。 ・たまに嫌がる面も見せるが、行ってしまおうと楽しく過ごせている。やったことを楽しそうに話してくれることもある。	今後も楽しみにして頂けるよう、心掛けていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				・一人ひとりの先生が子どもに合わせて真剣に向き合ってくれて進めてくれるのでとても助かっています。 ・いつも丁寧な対応ありがとうございます。落ち着いた環境で親子とも安心して通っています。 ・常に新しい試みをされており、就学前の子どもを持つ親として大変頼りになります。	今後も保護者様に満足していただけるよう日々のセラピーに努めていきたいです。又、保護者様のお悩み、ご要望にもお伺い一緒に考えていければと思います。

事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名	てらびあぼけっと 相模大野教室					
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	子ども:指導員=1:1で配置し、セラピーを実施。(ソーシャルセラピー時は除く)		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玩具は玩具箱にできる限り収納するなど取り組む時の注目が逸れないように工夫している。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		クール(時間)ごとに消毒をしている。又、利用児に合わせて掲示したりしている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室があるので、様子や必要に応じて対応できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年必ず職員間で検討し、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎月の職員会議やその他でも必要に応じて話す場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修案内を回覧で回し、外部研修・本部の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		適宜アセスメントや分析を行い、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画の作成過程で、職員とのカンファレンスを行い検討する機会をもっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員全体に共有しており、かつ、すぐに確認でき計画に沿った支援ができるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		計画作成時からガイドラインを参考にし、必要な項目を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で必要に応じて検討・話す場を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		毎回のようセラピーで個別・小集団活動を行うが、その割合は子どもにより調整している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日の朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎日必ず終礼を行い、その日の支援について共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		セラピーノートや個人ファイルに、日々のセラピーの様子を適宜記録し共有したり、必要に応じて検討もしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
その他	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者からの要望に応じて、通園先に訪問し、様子や支援内容の共有をしている。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	保護者からの要望に応じて対応していくことを該当保護者へ伝えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		同法人内の園行事に参加し、交流した。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お迎え時のフィードバックにてその日の様子をお伝えし、共有している。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		適宜、保護者へ情報提供をしている。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の要望に応じて、面談の案内をしたり、相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		現状でできていないが、保護者の要望に応じて今後検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的におたよりを配布している。又、月に2回程ブログを上げている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	プライバシー保護の観点から地域住民を招待することはしていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防火マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		研修・訓練を共に必ず実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食事提供はないが、アレルギーの有無は必ず確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月ヒヤリハットの振り返りをしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけつと相模大野教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 29日 ~ 令和7年 11月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年 10月29日 ~ 令和7年 11月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月22日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育・小集団療育の両方行っている	同年齢が揃っているクール(時間)があったり年齢の近いお子様のクールでは制作と一緒に取り組んだり、年長児は就学に向けた取り組み、ルール遊び等の集団活動にも積極的に取り組んでいる。	来年度も保護者様のご要望の時間にできるだけご案内ができるよう調整しつつ、同年齢でセラピーができるようご案内、振り分けを行っていききたい。
2	家族支援を積極的に行っている	フィードバック等でお悩みや相談等お聞きした際に保護者様に面談のご案内をさせていただいている。又、面談でのお話の内容は職員間で共有し、全員で検討しセラピーの中で取り入れられそうなことを考え保護者様にご提案させていただいている。	引き続き保護者様のご要望に合わせて面談を行ったり、本部からの動画や教室で取り組んでいてお家でもできそうなことを無理のない範囲でご提案させていただきますと思う
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職がない	現在、専門職が在籍していない為、すぐに対応することができない状況ではあるが、本部のSVに聞くなどして対応している状態である。	今後も必要に応じて本部のSVに相談し、子ども達にとってより良いセラピーを行えるように取り組んでいきたい。又、引き続きオーナーに駆け合っ、専門職の方の求人募集をしていきたい。
2			
3			